令和8年度東京都食育・地産地消促進事業企画

あぐりフレンズ・東京　親子で学ぶ東京の農業2026

有楽町にやさい畑がやってくる！

2026年10月24日（土）開催報告

主催：JA東京中央会・東京都生協連　協力：JA東京青壮年組織協議会

「あぐりフレンズ・東京」は、JAと生協が協同して消費者と生産現場の架け橋となり、東京の農業を発信し、東京の農業の活性化につなげる取り組みです。「東京味わいフェスタ2026」の有楽町エリアで、JA 東京青壮年組織協議会が主催する「カブ・さつまいも・しいたけ・小松菜」の収穫体験に、親子18組36名が参加し、東京の農業について楽しく学びました。

今年も東京の若手農家の組織「JA東京青壮年組織協議会」が、東京国際フォーラムの広場にプランターの畑を出現させました！

東京のど真ん中で畑の土に触れ、さつまいもを掘り出したり、小松菜を抜いたり、お子さんたちが楽しみながら収穫体験ができ、農家のみなさんとの交流を通じて、親子で東京の農業や農作物について学ぶことができました。思いがけなくお子さんたちに好評だったのは、野菜を袋に入れてテープで止める作業で、一つずつ丁寧に袋詰めしていました。自分で収穫した野菜を大切に持ち帰り、自宅で美味しく食べることも大事な学びです。東京産の果物を使ったグミも試食用に配付し、東京には多くの畑があり、たくさんの野菜や果物や花が作られていることを学ぶ貴重な機会となりました。

参加者の感想抜粋

【参加した理由】
- 子どもに収穫を体験させたかった。
- 子どもが近所のお庭にある家庭菜園を見て、「採ってみたい！」といつも言っていたため。
- 東京の真ん中で野菜収穫できるなんて、楽しそうと思ったから。
- 偏食なので、野菜に興味を持ってもらいたくて参加しました。

【感想】
- 「すごい！」と思った。狭い空間でも農業や緑を感じた。
- 子どもの笑顔が見られてよかった。
- 子どもが「明日もこよっか」と言いました。
- 子どもが都内で楽しく農業体験できるイベントや食育につながるイベントがもっと増えてほしいです。
- 若手の方が農業されているのが素敵です！
- 東京産の野菜やくだものを、もっと普段の生活に取り入れたいと思いました。
- 東京産を応援したいと思いました。食べるのが楽しみです。